TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

真実のベル 真実を鳴り知らせる
ガリテヤの信徒への手紙

2022 年 10 月 22 日&23 日
ジェシー・セザリオ 牧師

はじめに

パウロの短い手紙、ガラテヤの信徒への手紙は「キリスト教の自由のマグナ・カルタ(大憲章)」と呼ばれています。つまり、聖書からキリストにある自由について根本的なことを学びたいなら、この手紙がいいということです。今も昔も、この手紙の影響の大きさは計り知れません。

パウロの手紙の中でもユニークな手紙であり、クリスマスにある華やかなベルのように励ますものではありません。それよりも、ガラテヤの信徒に対しての警告で、目を覚ませて、深刻な問題があることを自覚させるものです。

ガラテヤの人々はユダヤ教の修養やユダヤ主義の教えを取り入れ始めてしまいました。ユダヤ主義の人達は、ユダヤの律法や伝統を、イエス・キリストが十字架で成し遂げた救いに追加したかったクリスチャンです。これら行いがさらなる義に繋がると考えられていました。

しかし、この手紙にある真実への警告ベルは鳴りやみませんでした。1500 年ほど後に、ガラテヤ人への手紙によって、聖霊がマルティン・ルターの目を、当時のローマカトリック教会における明らかに聖書から外れた修養に向かせたのです。 特に目立ったのは、罪に対する罰を軽くするために実践されていた修養です。

問題点: これは聖書にはない教えです。初代教会の頃にあったユダヤ主義の教えと同じように、義に導くための行いが、わずか一世紀後に、またクリスチャンに規定されました。

パウロは、全部ではないにせよ、聖霊の啓示によって書いた自分の手紙がガラテヤ人だけではなく未来の読み手に大きな影響を与えると分かっていたのでしょうか。間違いなく、聖霊は宗教改革と特にルターに大きな影響を与えることを分かっていたでしょう。そのため、この手紙は天啓と不変の重要事項が明らかにし、今でも私たちにとってもそうです。

では、ガラテヤの信徒への手紙のメインポイントです。救いは信仰を通した恵みであり、信仰によってのみ与えられる。これが全てです。

私が期待して祈ることは、皆さんがイエス・キリストに出会い、福音の真実を知ることです。

・どうやって神の力を体験するか。
・どうやって神の栄光につながる信仰を持つか。
・どうやって神を喜ばせることに目を向けるか。

ではお手元の聖書でガラテヤの信徒への手紙第一章を開き、1 節から 5 節を読みましょう。

どうやって神の力を体験するか。ガラ 1:1-5

1 人々からでもなく、人を通してでもなく、イエス・キリストと、この方を死者の中から復活させた父なる神とによって使徒とされたパウロ、2 ならびに、私と共にいるきょうだい一同から、ガラテヤの諸教会へ。 3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。 4 キリストは私たちの父なる神の御心に従って、今の悪の世から私たちを救い出そうとして、私たちの罪のためにご自身を献げてくださったのです。 5 この神に世々限りなく栄光がありますように、アーメン。

この箇所で一つ際立っていることは、私たちの罪のため、さらに言えば、今の悪の世から私たちを救い出そうとして、キリストはご自身を捧げたということです。今の世の悪は罪からの救いより注目されるものではなく、また、救いもただ自分たちの罪から救われるだけに留まるものでもありません。

悪という言葉は一般的に使われる「悪」と同じ言葉ですが、聖書では信仰における悪として使われ、マタイ 13 章でイエスが使った「悪いもの」と同じ意味でもあります。つまり、悪魔と永遠の罰です。

ここで、こう訊ねてみるといいでしょう。なぜパウロは、弁解モードで始めて議論を打ち出したのでしょうか。パウロの他の手紙をみると、大部分は読み手の信仰を称えることから始まっているのです。

それは、クリスチャンとなったユダヤ人が異邦人に嫉妬していたからです。外国人である異邦人がユダヤ人の法や規定に従うことなく救世主の信仰者になれるという事実に嫉妬したのです。

しかし、神の福音が教えることはまさしくこれです。真の福音が教えるのは、イエス・キリストへの信仰を通して神の恵みによる、その点によってのみ人は救われることです。どのような行いも関係なく、信仰を達成したり強めたり、維持したりするために何かする必要もありません。法もなく伝統もなく、行事もなく、信仰以外なにも必要ありません。

これが、パウロと兄弟たちがガラテヤの教会に伝えていたことです。この手紙が書かれた当時、権威のあるクリスチャンだと主張する人が現れ、福音の教えをくずし始めたのです。彼らは、信仰の動力が義に繋がる行いであり、それによって神と正しい関係を持ち、初めて神の力を体験できると彼らは信じていました。

重要ポイント: しかし、パウロが指摘したのは、すでに信仰を通して神の元に来て、すでに聖霊を受けているのなら、すでに今すぐ神の力を体験できる状態にあるということです。

あなたがたも、キリストにあって、真理の言葉、あなたがたの救いの福音を聞き、それを信じ、約束された聖霊によって証印を受けたのです。エペ 1:13

*私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。*エペ 3:20-21

信仰に対する誤解:
・神の力を「本当に」体験するのは、お気に入りのクリスチャンの曲を聞くとき。
・神の力を「本当に」体験するのは、異言で祈るとき。

・神の力を「本当に」体験するのは、あるミニストリーに参加したとき。

聖書によると、これらは完全に間違った教えです。

聖書では、私たちは神の力によって守られ、これは信仰によるものだと(1ペト1:5)はっきりと言っています。

神の力を体験するには信仰以外何も必要ありません。信仰だけなんです！すでに持っていますよね。どうしていつも下を向いてしまうのですか？神を見上げればいいんです！

質問: 福音による信仰を正しく教える人、間違って教える人の区別がつきますか？聖書研究家や教師、牧師やユーチューバーと言った人たちでも間違うことがあります。間違った福音とは、元の福音に何かをくわえたり、取り除かれたりするものです。そのように改変されたものは、もはや正しく神を知り、神を体験する方法を教えることはできません。

私たちは、福音でも他の教えでもそれが提示された時、聖書に書かれていることなのか確かめる必要があります。これは、書籍や聖書の学び、信頼する教師のビデオでも同じです。そして、福音について御言葉が言っていることを正確に教えていない人であったら、相手が悔い改めて内容を訂正しなければ、その人がそうするまで避けるべきです。パウロの時代の問題は、人々は違う福音、汚れた、悪の世に汚れた別の福音に耳を傾け、その邪悪な教えと教師を受け入れ、そのまま受け入れたことです。

適用: TBCはスモールグループがある教会だとご存知ですね。つまり、教会メンバーの一人一人がスモールグループに入っているべきです。TBCでは、スモールグループのリーダーに学びの教材を選ばせてはいません。間違った福音を教えてしまう可能性があるからです。

用意された教材はそれぞれ礼拝メッセージに関連した教材です。礼拝堂の奥から取るか、オンラインでダウンロードできます。ほかにはグレースルームに行くと、他の教材の入ったキャビネットからお持ちいただけます。中には一般販売されているものもあります。

しかし、グループリーダーとそのグループがグレースルームのマテリアルや、礼拝メッセージに関連したスモールグループ用教材を使わない場合は、牧師に連絡が必要です。この決まりは、その行為を止めたいわけではなく、メンバーを守るためのものです。積極的にそうしたいと思いますし、皆さんも積極的にそうするべきです。

どうやって神の栄光につながる信仰を持つか。ガラ1:6-9
6 キリストの恵みへと招いてくださった方から、あなたがたがこんなにも早く離れて、ほかの福音に移って行こうとしていることに、私は驚いています。7 ほかの福音といっても、もう一つ別の福音があるわけではなく、ある人たちがあなたがたをかき乱し、キリストの福音をゆがめようとしているだけなのです。8 しかし、私たちであれ、天使であれ、私たちがあなたがたに告げ知らせた福音に反することを告げ知らせるなら、その者は呪われるべきです。9 私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。誰であれ、あなたがたが受け取った福音に反することをあなたがたに告げ知らせるなら、その者は呪われるべきです。

ここで、パウロは人々が何から離れたのかについて語っています。実際には、何かからではなく、誰かからです。別の福音を受け取ることで、神から離れてしまったのです。

パウロは、これは彼らがすでに受け入れた福音に手がくわえられた教えであると指摘します。そのため、イエス・キリストの福音をゆがめた、間違って邪悪な変更だと言います。

重要なポイント: 救いは信仰によるものです。それしかありません。イエス・キリストの福音は、イエスこそが人が罪と悪い世から救われる唯一の道だからです。これまで生きて来た悪の世です。

しかし、神の御子が来ました。自分自身の命を捧げるために。イエス・キリストの犠牲、十字架で血を流したことが、あなたを神と分断した罪を清めるための完璧な犠牲でした。この贖いだけが、悪の世と背後にある悪の力からあなたを自由にするのです。

だからこそ、5節にあるようにイエスに世々限りなく栄光があります。そして栄光は神のものであり、神だけのものです。

福音がゆがめられるとどうなると思いますか？福音に何かを付け加えられたり、取り除かれたり、捻じ曲げられたりしたら。福音をゆがめることは、イエスの栄光をイエスから奪うことです。イエス・キリストに世々限りなく栄光が帰されなくなります。

イエスから栄光を奪われ、その栄光は、福音をゆがめた人々とそれを形にした半キリストに渡されます。大げさに聞こえるかもしれませんが、パウロがそうした人々に何を望んだか注目してください。

「その者は呪われるべきです。」もとのギリシャ語は「*anathema*」です。この言葉は滅亡や破滅のために神に捧げられたりすることを意味していて、永遠の地獄を指します。パウロは福音をゆがめるなら人であれ、天使であれ、だれであれ霊的な呪いを受けるべきと主張しています。

福音をゆがめる人とそれを受け取る人は、永遠のいのちを受け取ることはできず、いのちの書に名前もなく、偽りの福音を信じるものは炎の池で永遠に過ごすと黙示録20:14-15に書かれています。

当時も今も同じです。何故なら、福音が信仰によってクリスチャンに約束していることはどれも危い立場に立たされることになるからです。

どういうことかというと
・自由と永遠のいのちを受け継ぐ代わりに、束縛と永遠の地獄を受け継ぎます。
・イエス・キリストへの信仰により聖霊と力を受け取る代わりに、反キリストの力が残り、地獄の底から出てくる黒いタールのように全身を覆われているからです。何故なら、この世の悪より偉大な御霊を受け取ることがないからです。

このような人は、ガラテヤ5:22-23にある御霊の実―つまり、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制―を受け取らないのです

ところで、これらは賜物だとお気づきですか？見返りなしの贈りものをどうやって受け取るのでしょう？それは求めることです。

祈って求めます。愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制は自分自身が持っているものではなく、聖霊によるものです。だから求める必要があります。

新しい信仰生活のもたらすものは素晴らしいですが、偽りの福音ではこれらを得ることができません。

しかし、イエス自身を受け入れる以外に、他のものを求めるのはやめましょう！

この悪の世を生き延びるには、賜物が不可欠で、また神からの賜物は他の人と分かち合い、仕えることに必要です。だからこそ、今ここで賜物が与えられるのです。キリストのために生きる時、日々霊的な猛攻撃を受けるのですから。御霊を求めて祈りましょう。

ただ、もっと大きな危険もあります。ゆがめられた福音はガラテヤで始まっただけではなく、繰り返しゆがめられ、人から人へ伝わります。そして周りに広まり、さらに世代へと、今の私たちの世代まで続いてくるのです。

まるで最悪な伝言ゲームのようです。円になって、誰かがもうひとりに言葉を言って、順に次の人に伝えていくゲームです。最初の人に戻る頃には、全部台無しです。言葉が抜けていたり、意味が通るように別な人が付け足したり、それでも大抵は元の言葉とはまったく違うものなっています。

命を救う力のある福音に同じことが起こってはなりません。

ひとりがまた別のひとりに伝えることが、真実ではなく間違った福音だった場合の恐ろしさを考えてください。間違った福音を聞いた人を束縛と破滅へと導いてしまいます。私たちの世代まで届いてしまうまで。そして神の栄光が悪魔に与えられてしまいます。

だからこそ、パウロはガラテヤで何があったかを聞いてひどく憤慨し、怒ってさえいるのです。

質問: あなたは真の福音を受け入れたいですか？皆さんは、信仰だけによって救われるという福音を誰かに伝えて、またその人がそれを誰かに伝えるために教えたいですか？それぞれにこの先のどの世代にも、神の栄光のために、真実のベルを鳴らしますか？

ヤコブはヤコブの手紙でも警告しています。多くの人が教師になってはなりません、何故なら教師はより厳しく裁かれるからだと教えています。この裁きは何を教えるかが基準であり、特に救いについての福音のメッセージ、そして新約聖書で教える本質、つまり聖書が言っていることを基準によって裁かれます。

自分は教師や、説教者、教会のリーダー、宣教師、カウンセラーやメンターだと思っていますか？そうであるなら、これを間違えるわけにはいきません。多くの責任があります。

神への栄光だけのための適用方法があります:

適用: 教師としても教会のメンバーとしても聖書的な正確性を求めなければなりません。この考え方を受け入れるべきです。なぜなら、相手に、そして自分自身も呪われるという壊滅的な結果が待っているからです。あなたが参考にしている教師の中で、「福音をゆがませる」人はいませんか？追い出しましょう！

皆さんはわかりませんが、私はなにかを学ぶとき、とにかくやってみて、徐々にあらゆる失敗と間違えを見出して、ようやく失敗を回避してうまくいくように覚えるタイプです。

あなたはどうですか？ここでは、そうするわけにはいきません。福音においては、この学ぶ方法はダメです。だからこそ言いますが、私たちはまず正しい御言葉を区別できるよう熱心に努めなければなりません。それだけでなく、そうしなかったときの悲劇を知ることで、悲劇的な結果を避けるのです。

どうやって神を喜ばせることに目を向けるか。- ガラ 1:10-16
10 今私は人に取り入ろうとしているのでしょうか、それとも、神に取り入ろうとしているのでしょうか。あるいは、人の歓心を買おうと努めているのでしょうか。もし、今なお人の歓心を買おうとしているなら、私はキリストの僕ではありません。11 きょうだいたち、どうか知っておいてほしい。私が告げ知らせた福音は人によるものではありません。12 なぜならこの私は、その福音を人から受けたのでも教えられたのでもなく、実にイエス・キリストの啓示を通して受けたからです。13 私がかつてユダヤ教徒としてどのように振る舞っていたかは、あなたがたが聞いているとおりです。私は神の教会を徹底的に迫害し、破壊しようとしていました。14 同世代の多くの同胞よりもユダヤ教に精進し、先祖の伝承に対しては極めて熱心でした。15 しかし、母の胎にいるときから私を選び分け、恵みによって召し出してくださった神が、御心のままに、16 御子を私に示して、異邦人に御子を告げ知らせるようにされたとき、私は、人に相談することはせず、

この箇所の後、パウロはダマスカスへの道のりで、信仰を得た直後から自分がなにをしてきたかを語ります。そこは使徒 26:14 に詳しく書かれていますが、イエス・キリストと出会い福音によって回心しています。

キリストに話しかけられた時は、パウロはサウルと呼ばれていました。「サウル、サウル、なぜ、私を迫害するのか。突き棒を蹴ると痛い目に遭うものだ」これは古いことわざで、農夫が突き棒という短い槍で動物を突いて、農夫が思う方に動物を動かそうとするときの話から来ています。

ただ、動物はたまに突然怒って農夫を蹴ろうとして突き棒に当たり刺されることがあります。実際、キリストがパウロに聞いていたのは、なぜ愚かな動物のようにそう頑なのか、神の力まで目撃してるというのに、なぜ神と神の民（パウロも含まれているのに）と戦うのか、でした。

パウロはもともとユダヤの伝統と律法に熱心でした。元々の宗派の仲間たちを喜ばせるためにやっていたようなものです。認められようと教会を迫害していました。パウロが所属していたのはユダヤの最高権威であるサンヘドリンで、聖霊に満たされたステパノを狙っていました。ステパノは聖霊によって奇跡を行う弟子、真実を教える教師であり、サンヘドリンやパウロの目にはみ使いのように顔が輝いて見えました。

その結果、パウロは神に選ばれた僕と神の子供でしたが、ノンクリスチャンであった時でも、神の力を体験し、兄弟と言えるステパノの殉教に賛同していました。パウロの手はステパノの血にまみれていたのです。

パウロは人を惑わす力、人に喜ばれたい、感心されたい、笑われたくないという思いの悪の力を知っています。パウロ自身も陥りました。そこでパウロは選択肢が二つあると言います。神を喜ばせるか、人を喜ばせるか。言葉だけを見ると簡単で何の問題もなく選べそうですが、人生の中ではそれほど単純ではありません。

私たちみんなこの箇所を読んで、もちろん神を喜ばせたい、と言うでしょう。しかし、問題は肝心な時にほとんどいつも忘れてしまうことです。パウロがかつてしたように、神を見上げることを忘れるのです。ステパノのように、自分に石を投げる人や直面する死を恐れずにはいられません。ステパノがそうできたのは信仰によって上を見続け、天にいる主を常に仰いでいたからです。

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神がご自分を求める者に報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。ヘブ 11:6

質問: あなたはサウロとステパノのどちらに似ていますか？

もしくは、サウロとパウロのどちらに似ていますか？信仰のない頃のパウロであり、仲間を喜ばせるために人を殺したサウロか、新しく造られ、信仰によって生まれ変わり神を喜ばせるパウロか。

適用: まずパウロの体験をよく考えることです。パウロが語っていたのは、私たちのどんな行動でも動機を吟味して欲しいということでした。自分に対して、神を喜ばせたいのか、人を喜ばせたいのか、と問いただささないといけません。

今まさに、人生において、ほかの誰でもなく、神を喜ばせるべき何かがありますか？

簡単なテストとして、自分を吟味して今していることは正しいのか確認するには、神の栄光のためになるように、信仰によって行動しているかどうかを考えることです。

おわりに

世代から世代へ、救いは信仰においてのみ得られるものだという真実のベルを鳴らし続けなければなりません。

これは、福音は完璧であり、私たちは聖書にあることだけを教えるということを示しています。

この悪の世からの救いと神との関係を持って、神からの益を受け取るのは、イエス・キリストへの信仰によってのみ見つけられ、神の栄光のために、神の恵みによってのみ与えられます。

皆さんは自分の罪と悪の世から自由になりたいですか？神と神の益による力が欲しいですか？人を喜ばすより、神を喜ばせたいですか？

必要なのはイエス・キリストへの信仰だけです。イエスの死によってそれが可能になったと信じましょう。イエスをご自分の主であり救い主としてください。

祈りましょう
I

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4322jp

★クラス 101
メンバーシップクラス
11 月 27 日（日）13：00～17：00
★クラス 301
賜物発見クラス
10 月２３日（日）13：00～17：00
https://t-b-c.us/classes
オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu